

## 令和2酒造年度全国新酒鑑評会の出品酒の分析値の誤りについて

令和3年7月7日  
独立行政法人酒類総合研究所

弊所では、清酒の品質及び酒造技術の向上に資することを目的に「全国新酒鑑評会」を実施しております。出品された清酒について、成分分析及び官能審査（専門家によるきき酒）を行い、その結果を出品者にフィードバックするとともに、審査の結果、特に優秀と認められた出品者に対して、賞状を授与しています。

本年4月から5月にかけて実施した令和2酒造年度全国新酒鑑評会（出品：全国から821点）については、5月21日に入賞酒を公表するとともに、6月には、各出品者宛に「令和2酒造年度全国新酒鑑評会の成績表」を送付しておりますが、今般、以下のとおり、令和2酒造年度全国新酒鑑評会の出品酒について、分析値の誤りが判明しました。

分析値の誤りによりご迷惑をおかけした出品者及び関係者の皆様に対しましては誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

### 1 事案の概要

「成績表」に記載した香気成分（カプロン酸エチル（注）等）の分析値に関して、出品酒821点のうち、25点に誤りがあったことが判明いたしました。

本件について所内調査を実施した結果、作業手順書であらかじめ定められた分析手順が適切にとられていなかったことにより、分析プログラムの設定を誤っていた事実を把握しました。

全国新酒鑑評会の審査では、個々の出品酒の持つ味、香り、また、そのバランス等を総合的に評価しておりますが、審査に当たっては、審査が行いやすくなるよう、香りを表す香気成分（カプロン酸エチル）の分析値に基づいた区分ごとに順次、官能評価を行うこととされております。

分析値に誤りがあった上記の出品酒25点のうち、19点が本来とは香気成分の量が異なる出品酒区分において審査が行われました。本来とは異なった審査順序となったことで、審査環境に影響を及ぼした可能性があります。入賞酒の評価に変更はありません。

（注）カプロン酸エチルとは、吟醸酒に含まれるリンゴ様の香気成分。

### 2 出品者の皆様への対応

今回分析値に誤りがあったことが判明した25点の出品酒に係る出品者の皆様に対しては、個別に謝罪に伺い、経緯の説明を行っております。

### 3 再発防止策

鑑評会に係る分析のみならず、各種分析業務に携わる職員全員に対し、改めて作業手順書の遵守の徹底を指示するとともに、作業手順書に以下の項目を追加し、分析値の誤りを防止するための体制を強化いたします。

- ① 分析プログラムの設定に関して、誤りがないよう分析者以外の者によるダブルチェックを行うこととします。
- ② 分析の際は、原則として同一出品酒を2回分析しておりますが、分析の精度を担保するため、1回目と2回目の分析者や分析装置を変えて実施することとします。

### 4 お問い合わせ窓口

独立行政法人酒類総合研究所（広島県東広島市鏡山三丁目7番1号）

業務統括部門 担当：日下

品質・評価研究部門 担当：藤田

電話：082-420-8017 FAX：082-420-8018

メール：info@nrib.go.jp